

松居 和先生 6/10、6/11 講演会 保護者向けアンケート（津田このみ学園）

“親のニーズに応えたら不幸になる”、“預かり保育を増やせば、親が親でなくなる”衝撃的な言葉でした。働くために、社会福祉などのサービスが充実していくことが良いと思っていました。しかし、親として子育ての在り方、子どもと関わることで私自身も成長していけることが大切だと分かりました。研究や体験から子育てで本当に大切なことを教えていただきました。子どもとの時間をもっと大事にしたいと思いました。ありがとうございました。

“子どもが自分を良い人だと思わせてくれる“確かにそうだと思います。子どもを連れて公園で遊ぶ見ず知らずのパパは本当にいいパパに見えると思っていました（笑）子育てを通して子どもからたくさんの幸せをもらっています。パパと協力しながらこれからも一日一日を大事にかみしめながら過ごしたいと思います。貴重なお話ありがとうございました。

とても貴重なお話をありがとうございました。「ママがいい！」これは勲章だ、この言葉に涙が出ました。3歳の長男がまさにこれです。しかし、心に余裕がなく、何でも指名されることにしんどさを感じていたので、この言葉を忘れずに今日から子育てしていきたいです。本当にありがとうございました。

正直講演会は眠くなりそうだな、仕事のことも気になるし、と思っていましたが、5秒で話に引き込まれ、何度も涙が出そうになりました。私も何度も娘に対しての行動や言動に反省する毎日ですが、私を信頼し、私に頼る娘たちに育てられていることに気付きました。そして、これから娘に対する考え方、捉え方も変わったように思います。（同じことですか、見方が変わったような気がします。）ありがとうございました。

子どもが生まれ、毎日こんな子に育てほしい、こんな子になったらどうしよう、どんな子育てをしたら良いのだろうと色々考えながら過ごしていましたが、いろいろ難しいことを考えず思う存分可愛がることをしたらいいんだなと思えました。この子の親になれた幸せをかみしめながら、日々子どもからいろんなことを学び、成長していけたらなと思います。

私たちは、子ども達に“生かされている”、“育てられている”という言葉が心に染みしました。今一度、ゆったりとした気持ちになった時（本当は常に思わないといけないのですが…）

我が子の生まれた時から今までを愛おしく愛くるしく思い返し、これからも一緒に生きていきたいと感じました。ありがとうございました。

毎日5歳、3歳の男の子と過ごしていると、なんでこんなことばかりするのだろう、大変だなあ、うちの子がこの世で一番大変なんじゃないかと思う瞬間が何度もあります。今の時代、SNSなどでも子育てに関する考えがたくさんあって、私の考えや育て方が間違っているのかと悩み落ち込むことも多々ありますが、私の元に2人の子どもがいてくれること、悪いことをすること全てに意味があって、今日改めて私は2人の子ども達に育ててもらっているんだと実感できました。昔の子ども達やその時、子育てに奮闘していた自分を思い出せる良い時間になりました。本当にありがとうございました。

子育ての結果は、子どもが大きくなるまでなかなか感じたり、評価したりしてもらえないと感じることが多く、楽しむこと、意欲的に取り組むことが出来ず、悲しくなることが多いが、今日の話で一緒に遊ぶこと、子どもと一緒に過ごす時間の一つ一つが大切でそのままでもいいと思えた。ありがとうございました。

「相手の気持ちを理解しようとした時、人類は幸せに繋がる」相手の気持ちが分かった時すごくうれしかったのを思い出しました。毎日、毎秒子育てに追われているとほんの少しの喜びも楽しさを忘れてしまいますが、当たり前なことはないなと思いました。日本と異国の子育ての違いにびっくりです。親子の苦労は大事なことを教える側の忍耐力が付く、初めて知ることが多くて良かったです。「自由」という言葉の怖さ「不自由」になることに人間が幸福を感じる、しっかりと子ども達に教えていかないといけないと思いました。

想像していた講演会とは一味違った（良い意味で）感じであつという間に終わってしまった感じです。マサイの草原は、赤ちゃんの時に知りたかったです。1192年の日本人の証明もなるほどな〜と思いました。いろんなお話があつてふむふむ…と聞いていたのですが、クスリと笑うところも多く、心が軽くなった気がしました。神様が家にいるのだと思い、大事に大事にしようと思います。

今まで幼児に対する見方、考え方がお話を聞くことで変わりました。自分が良い人だったと思えて人生を終わりたいと思います。帰宅後、父親をうさぎにしようと思います。今この

子育てのタイミングでお話が聞けて良かったです。ありがとうございました。

こういう講演会に参加したのは初めてですが、とても楽しい時間でした。ありがとうございました。「ママがいい！」という言葉は勲章だという言葉がとても印象に残りました。この時ほど「ママ、ママ」と四六時中呼んでくれたり、信じ切って愛してくれたりするのは今が一番だと思うのでこの黄金の時間はボーナスタイムだと思うので大事に過ごしていきたいと思います。家に1歳児の女の子もいますが、この子ほど主人を動かす人間はいないです（笑）子どもがいてくれて私も遊んでくれて幸せです。

講演会というものに初めて参加しましたが、とても貴重な話を聞くことができ、大変有意義な時間となりました。私達親は、子どもに育ててもらっている、子どもと周囲の人間たちの相関係数によって豊かな社会が育まれていることに気付きました。父親主体の行事、楽しみにしています。

ママ友から「ママがいい！」の本を進められ、読んでからの参加でした。真面目な話の中、まず子ども達を「連中」と呼んだのに笑い、そこから感銘を受けては笑わせてもらったの連続でした。子ども達と一緒に育つということが深くささり、私自身、主人も子どもたちを育てているようで育てられているんだなと思い返すと、たくさん実感しました。「ママがいい！」が今まで育ててきた勲章だと言われ、思わず涙しそうになりました。これからも「ママがいい！」と言ってもらえるよう子ども達とともに成長し、立派に親となっていきたいと思います。ありがとうございました。

今日のお話を聞いて、私達親が子供を育てているのではなくて、子どもに私が育ててもらっているのだなと改めて感じました。毎日、忙しいですが、今しかないこの子どもとの時間を大事に大事にしようと思うきっかけとなりました。ありがとうございました。

我が家はとても高齢化、祖父（73）祖母（66）父（49）母（43）今日松居先生がお話しされたように生まれてきてくれただけで家の空気が変わり、0～1歳言葉のないコミュニケーションながめているだけで、泣き声が聞こえてくるだけで“充実した人生にしてくれ、家族の心を1つにしてくれました。大人がまず時間に追われることを止め、思う通りにならないことを笑ったり、まず耳を傾けたり相手を理解しようとしたり生き方を見直させてくれました。「子育ては、親心を育てる」本当にその通りだと思います。これが社会で起これば豊かな子どもであふれ、豊かな大人であふれるだろうと思います。「社会に絆と信頼関係があれば…」そのために私たちに何が出来るのか自分の子どものみならず何か社会

の子育てに寄り添える人間になりたいと感じます。このようなお話を聞ける貴重な機会をありがとうございました。